



第23回青澄祭

青澄祭実行委員会 ☎ (30) 4504

学生たちの個性あふれる模擬店や展示はもちろん、夜空を彩る花火や大爆笑のお笑いライブ、アーティストライブも。千葉科学大学の学園祭をお楽しみください。毎年大盛況の青くじは両日開催、誰でも参加可能。豪華景品の1等2等3等に加えて、参加賞は銚子の名物を揃えています。

▶日時 **11月14日(土)、15日(日) 10時～18時**
カラオケ大会は**15日(日)**

詳しくはこちら ▶▶▶



▶場所 千葉科学大学マリーナキャンパス



打上花火は

14日(土) 17時20分から
(20分間程度)

📍 銚子マリーナ海水浴場



市長コラム127

【親しまれる 複合施設】

銚子市長 越川 信一

10月4日、千葉科学大学を会場に『新たな複合施設に関するシンポジウム』を開催。「人口減少社会における公共施設のあり方」「市民に親しまれ、利用される複合施設」をテーマに、基調講演・パネルディスカッションを行った。

今年度策定を進める「公共施設整備基本構想」の対象施設は、市役所・文化ホール（青少年文化会館）・図書館・中央コミセン・勤労コミセンの5施設。候補地選定・複合化・集約化・財源・施設規模・事業手法・スケジュールの検討を進めている。いずれも老朽化が進行し、特に市役所庁舎は、Is値（耐震性能指標）が0.13（防災拠点となる官庁施設は0.9以上が求められる）と著しく低く、SRF工法による柱の補強は

実施したもの、Is値の改善には至っていない。

基調講演に立った千葉科学大学大学院の柳澤要教授は「発注者（市）だけでなく、様々な利用者・関係者を巻き込んで計画を策定すべき」と提案。市民に親しまれ利用される要素として、①いつでも気軽にできる ②いろいろなことができる ③いろいろな人がいることを挙げ、「コミュニティ性」「出会い性」の大切さを強調。パネルディスカッションで湯浅かさね助教（千葉科学大学）は武蔵野プレイス（武蔵野市）の例を挙げ、「複合施設には、誰も排除されない雑多性を有したサードプレイス（第3の居場所）であることが求められる」と述べた。

誰もが行きたくない、居たくない、使わずにはいられない。そんな複合施設をめざしたい。そのためには、市民一人ひとりが「私が利用する施設（自分事）」として捉え、供後の運営に主体的に、積極的に関わっていただくことが必要だ。